

養浜事業の進め方

資料-3



課題と対応

■課題：侵食の進行

■対応：養浜を実施するとともにモニタリングを行う

【具体的なモニタリング内容】

①地盤沈下（ -0.3cm/yr ）

→今後も水準点測量をモニタリング

②飛砂

→駐車場周辺における地形測量による堆積状況のモニタリング

③高波浪時の地形変化

→地形測量と定点カメラによる高波浪時の地形変化をモニタリング

④水質・底生生物調査

→水質・底生生物の分析による養浜が生物へ及ぼす影響を調査

■養浜の進め方

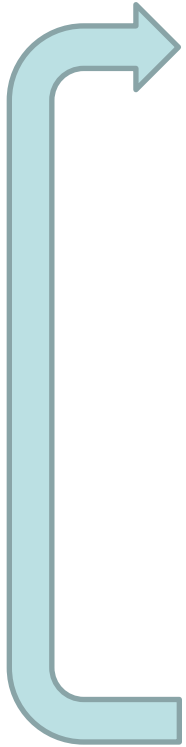
○ 継続してモニタリングを行い、養浜による災害防止、砂浜回復の両方の効果を検証



○ 養浜量、質、投入箇所等、計画の再チェック



○ 適宜、修正のうえ養浜を行う



課題と対応

■モニタリングカメラの設置 (平成26年度モニタリング開始)



小動岬方向



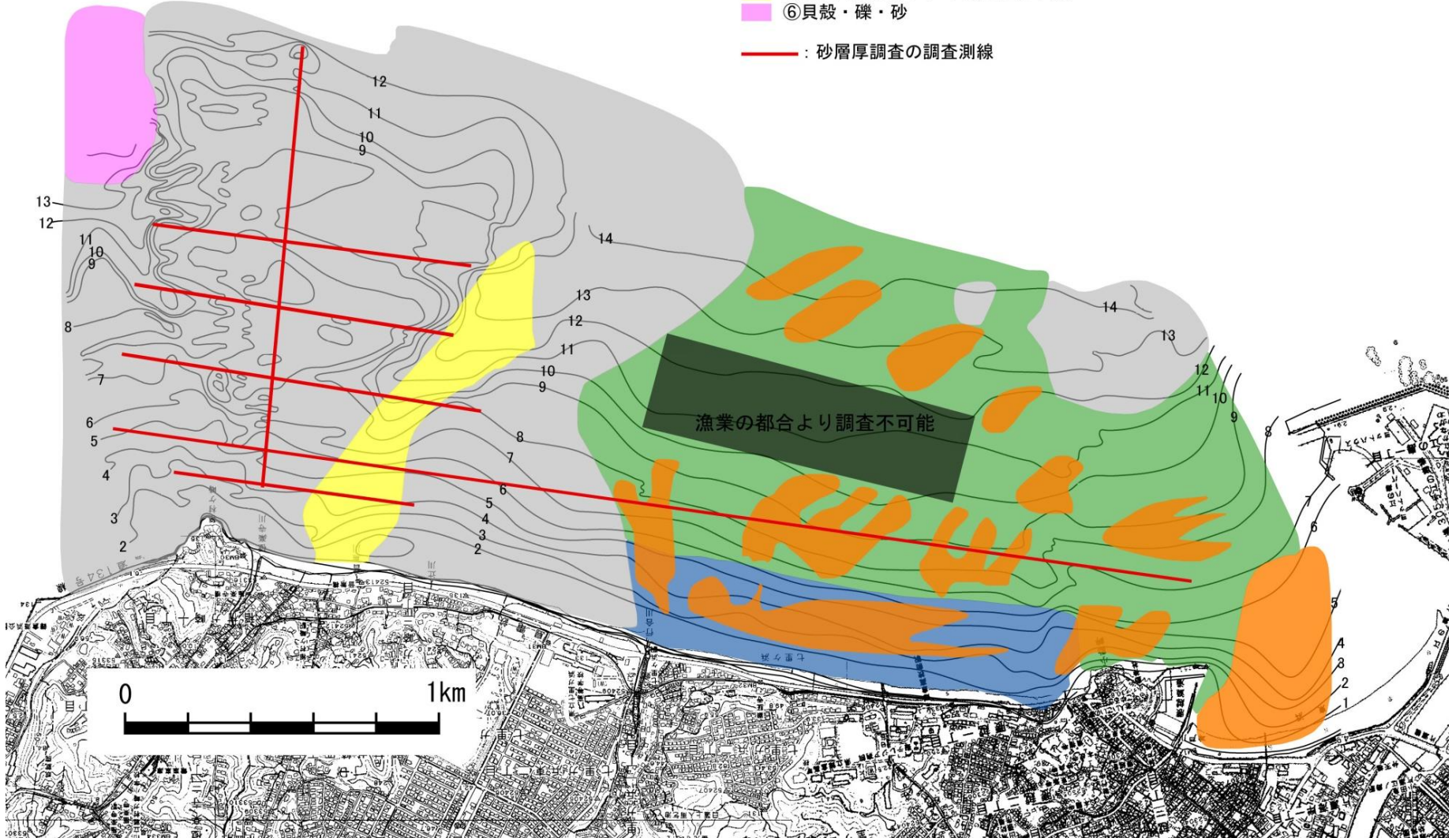
稲村ガ崎方向



藻場等植生分布調査

調査実施日：2007年11月～2008年1月

- ① 岩盤露出+海藻繁茂 層理の溝に礫・砂・貝殻等が薄く分布
 - ② 砂地に土丹露出+海藻付着
 - ③ 砂地に土丹露出
 - ④ 砂地（砂漣がある）
 - ⑤ 砂地（軟らかい、下層にシルト混）
 - ⑥ 貝殻・礫・砂
- : 砂層厚調査の調査測線



課題と対応

① 岩盤露出 + 海藻繁茂 層理の溝にレキ・砂・貝殻等が薄く分布



② 砂地に土丹露出 + 海藻附着



課題と対応

③ 砂地に土丹露出



④ 砂地(砂漣がある)



課題と対応

⑤ 砂地(軟らかい、下層にシルト混)



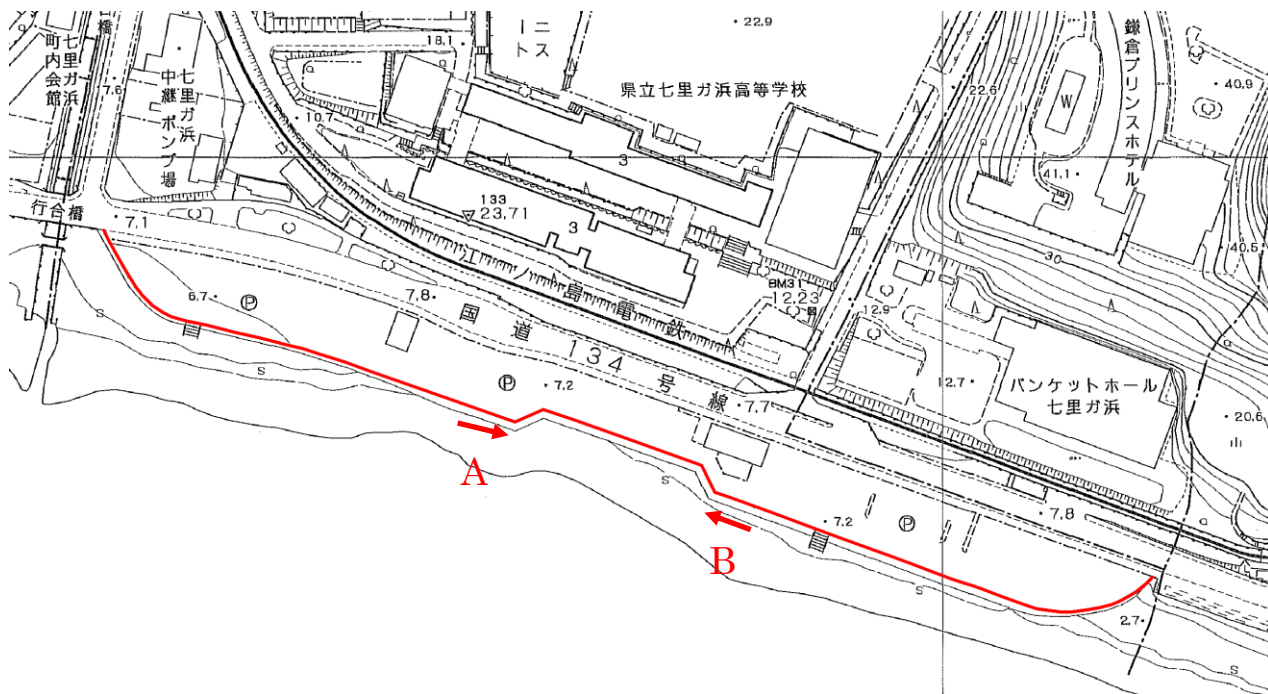
⑥ 貝殻・レキ・砂



レーダー探査

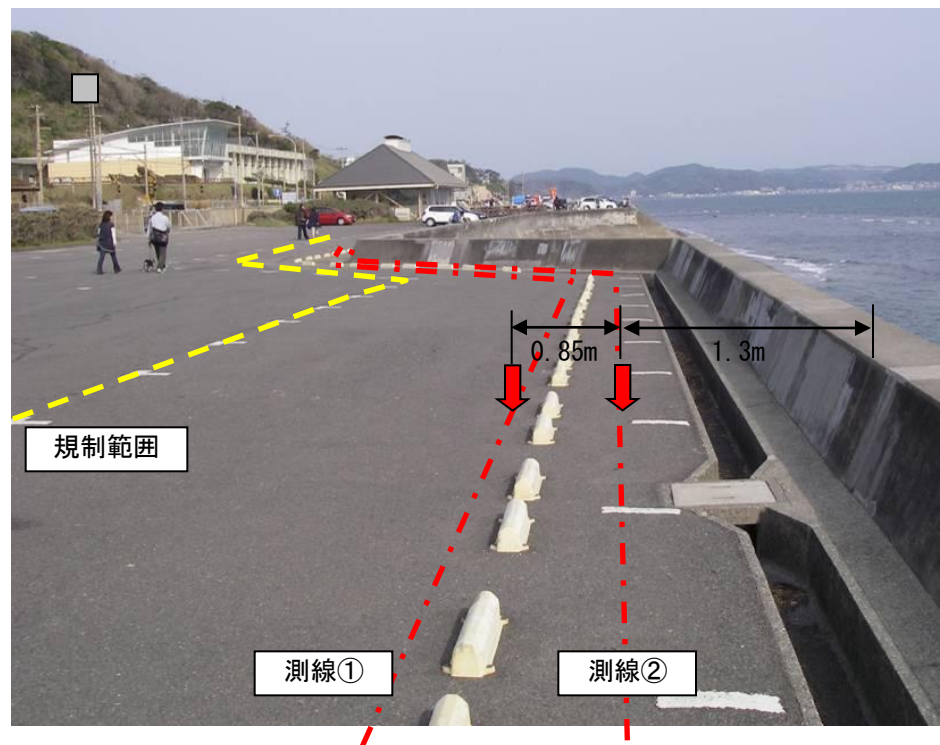
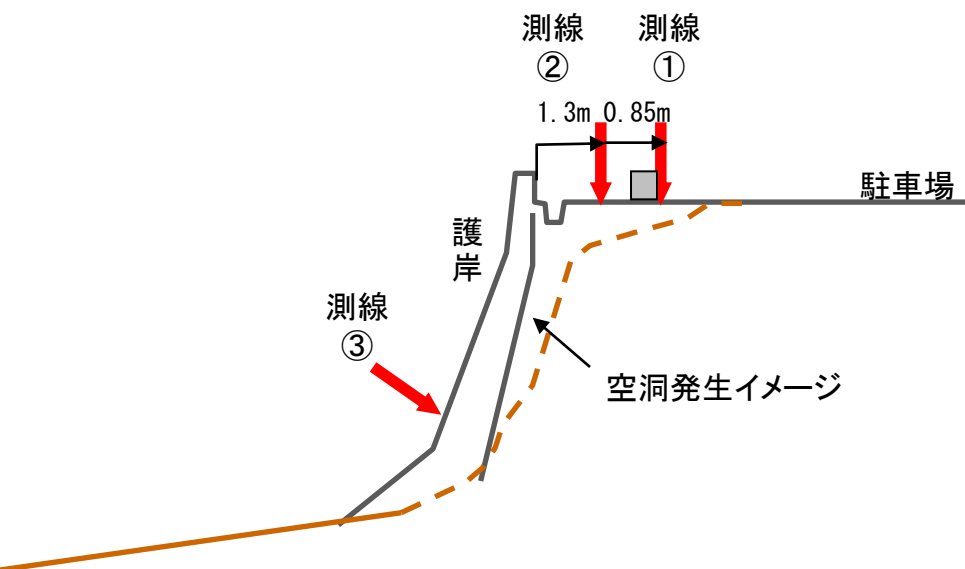
対象護岸は、非常に多くの利用者が利用する駐車場を囲むように配置された護岸であり、近年、侵食から基礎が露出し、老朽化した護岸からの吸い出しとそれに伴う空洞化が懸念されることから、レーダー探査による空洞の有無の確認を実施

調査期間：平成25年6月～8月



レーダー探査

調査概要及び結果



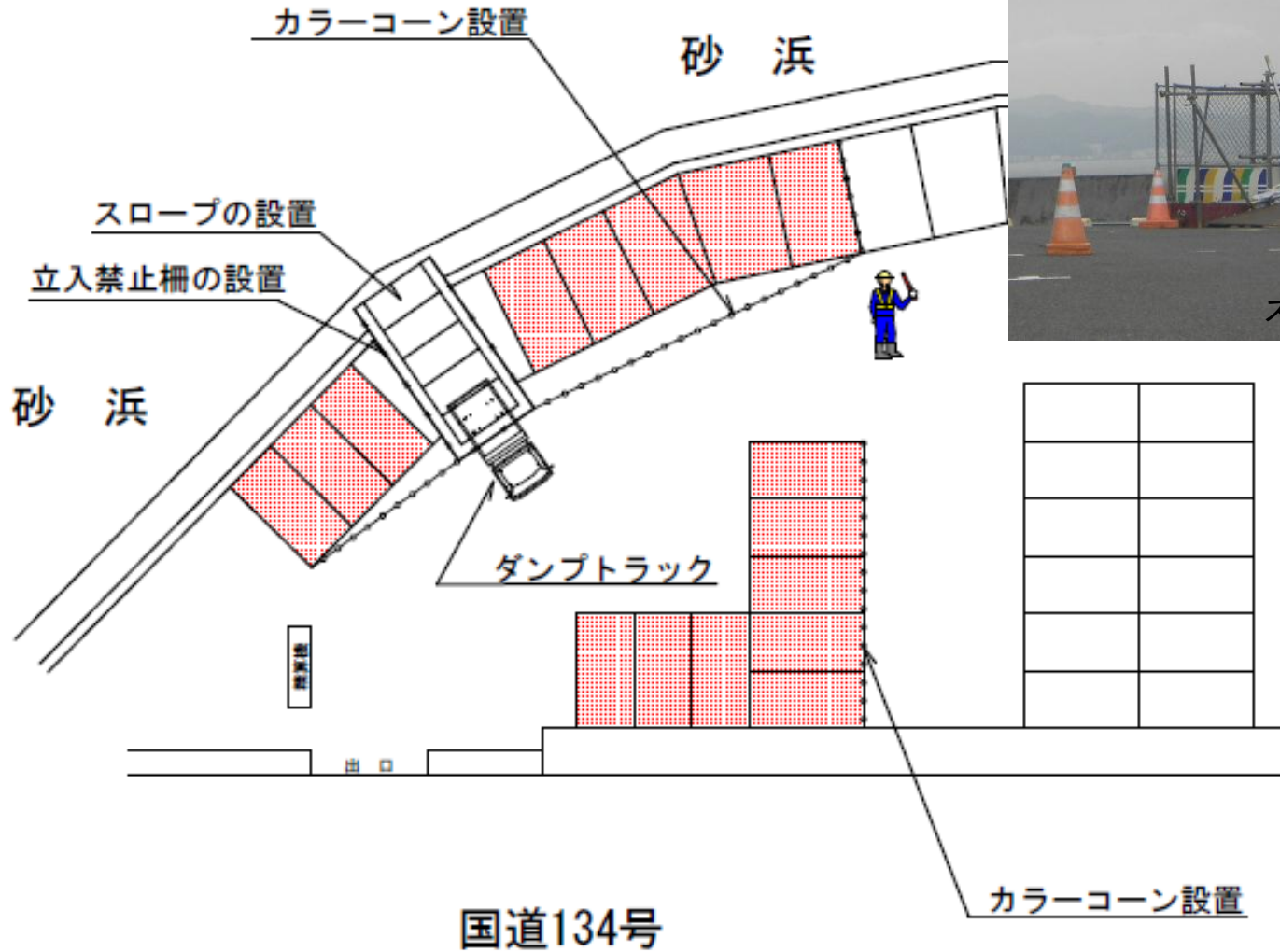
【調査結果】

空洞と思われる顕著な強い反射異常は認められなかった。しかし、小空洞の可能性が考えられる反射異常が1箇所認められた。また、部分的に小規模の空隙や地層の緩み領域と推定される反射が認められた。これらの異常は直ちに危険な状況につながるとは考えられないが、確認探査と経過観察を行っていく。

■養浜材



■養浜材の搬入事例



養浜計画

■養浜の施工方法

①養浜材の搬入



②現場内積込



③現場内運搬



④養浜材の整形

